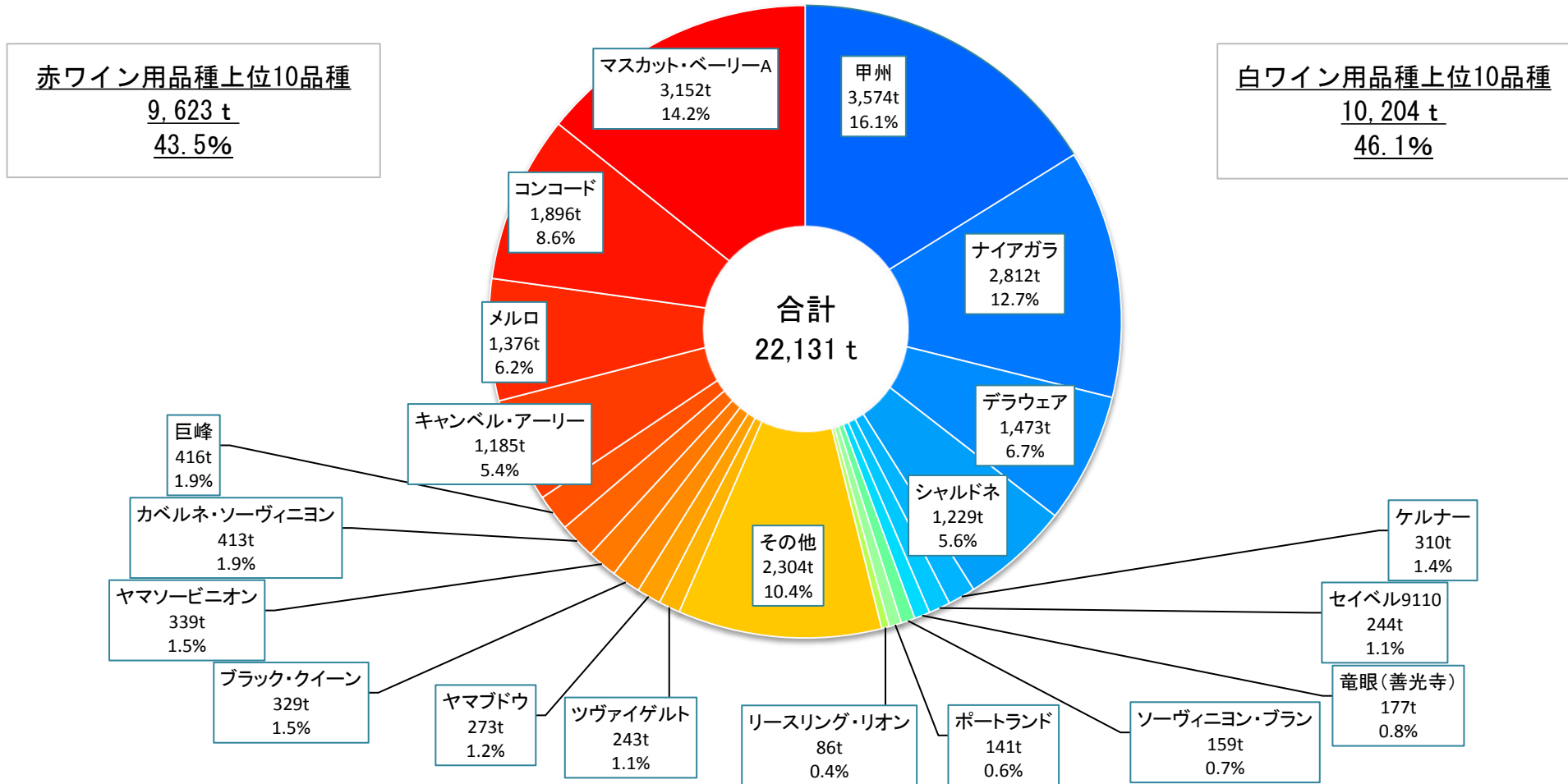


### 3 原料用国産生ぶどうの概況

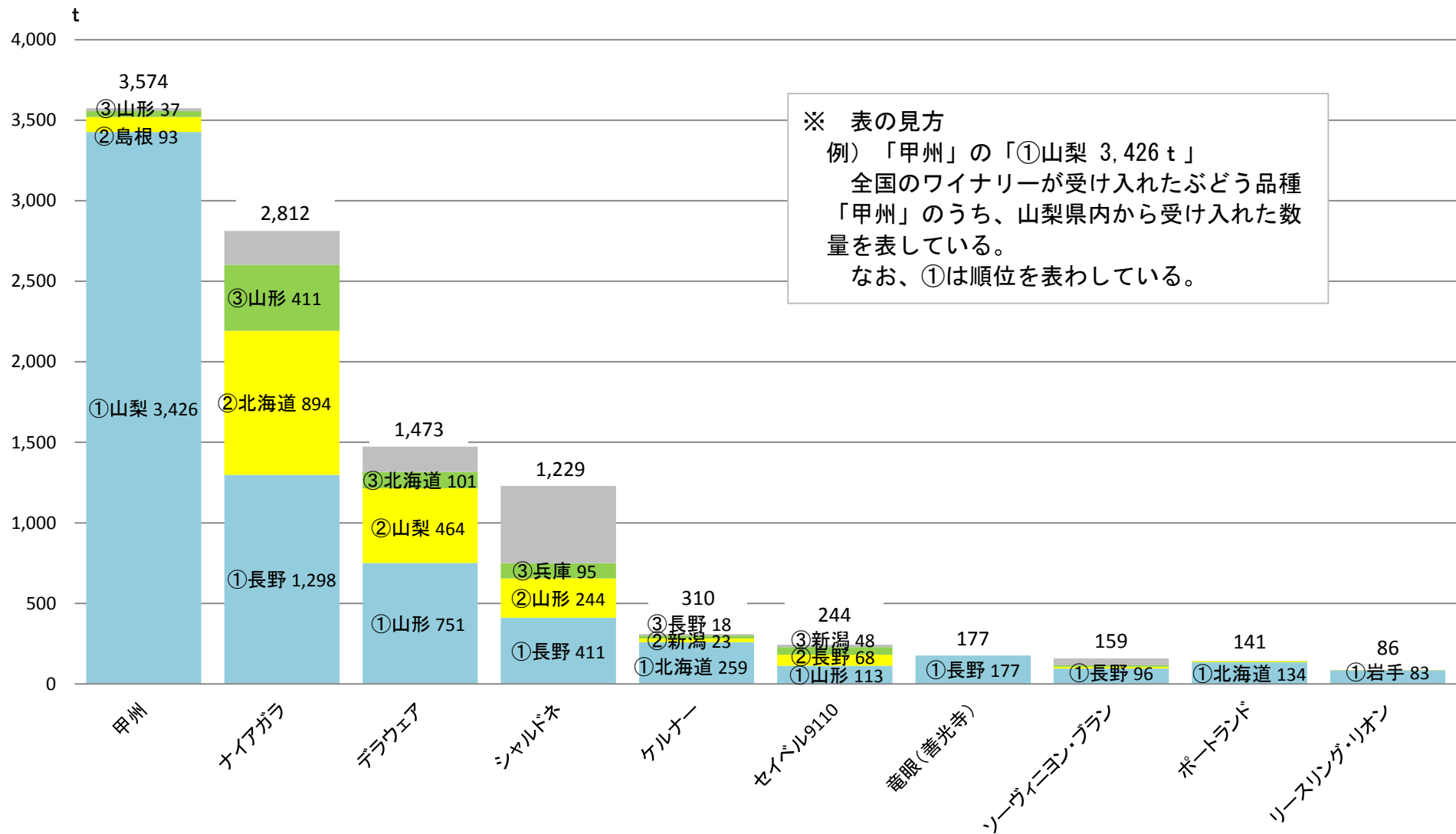
#### ○ ワイン原料用国産生ぶどう(赤白上位10品種)の受入数量



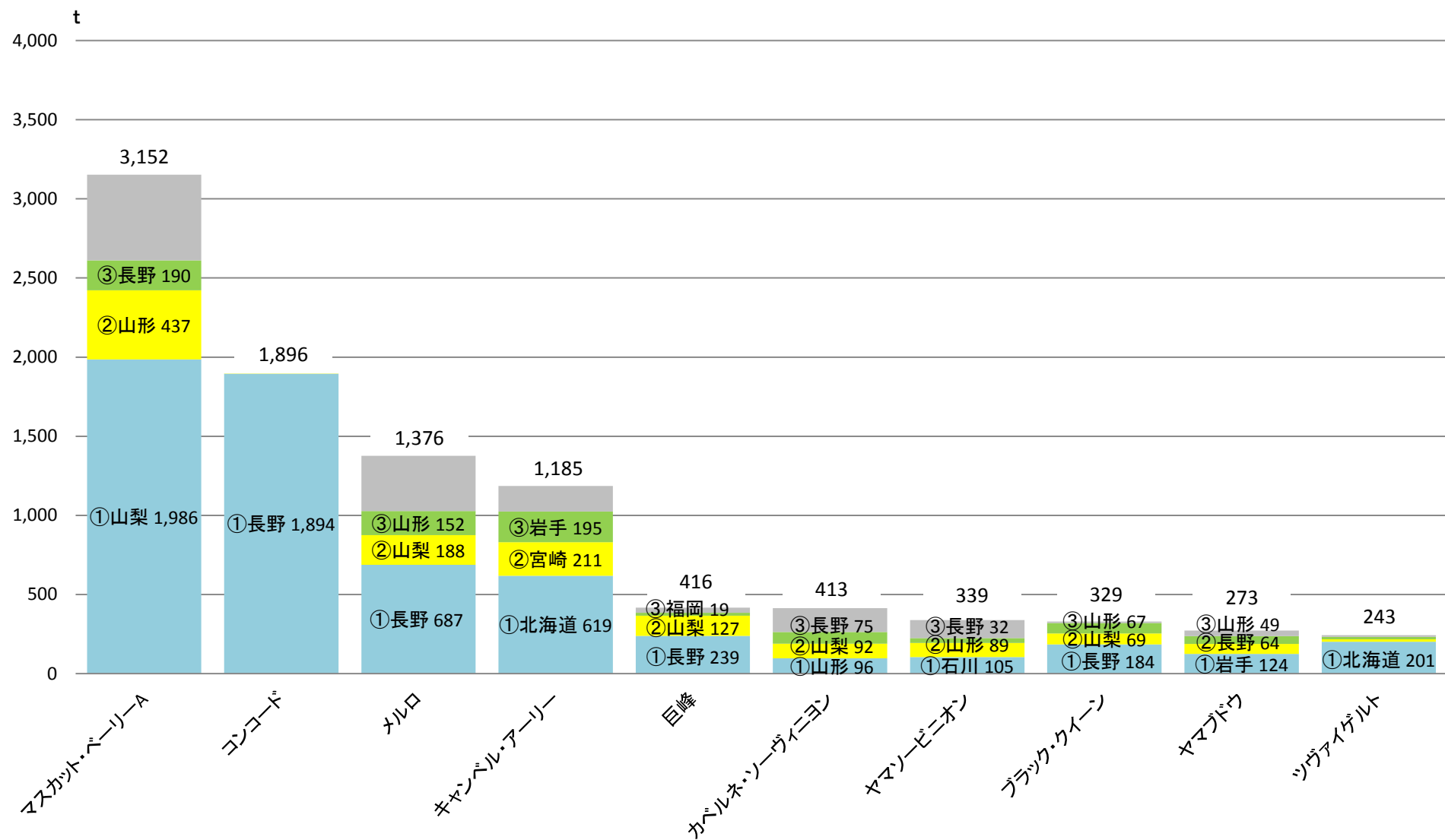
(注) ワインの原料とするために受け入れた国産生ぶどうの品種別数量の集計値であり、実際にワイン原料に使用した数量とは符合しない。

※ 国産生ぶどうのワイン原料使用量 20,671t

○ 原料用ぶどう品種(白上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)



○ 原料用ぶどう品種(赤上位10種)の主要産地(ぶどう産地別受入数量)

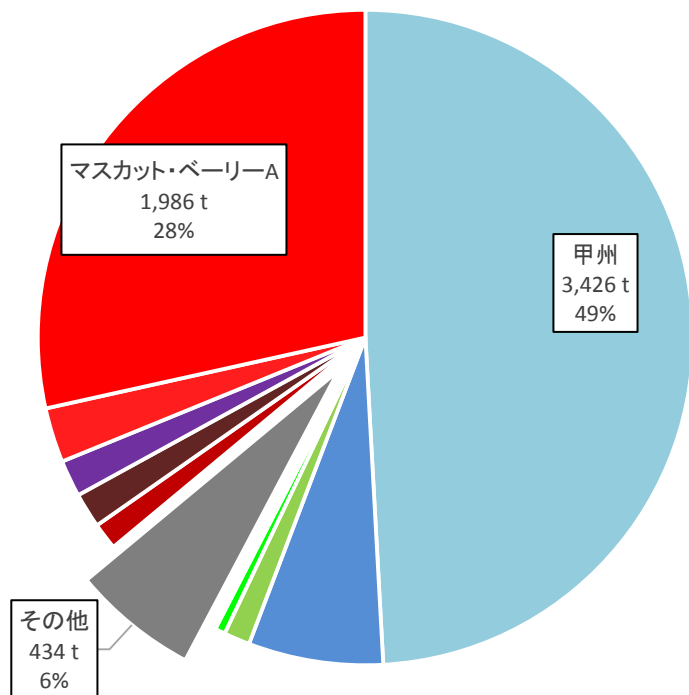


○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ①

山梨県(合計 6,973t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,985.6	28.5%
メルロ	188.1	2.7%
巨峰	126.5	1.8%
アジロンダック	120.5	1.7%
カベルネ・ソーヴィニヨン	92.0	1.3%
合計	2,512.6	36.0%

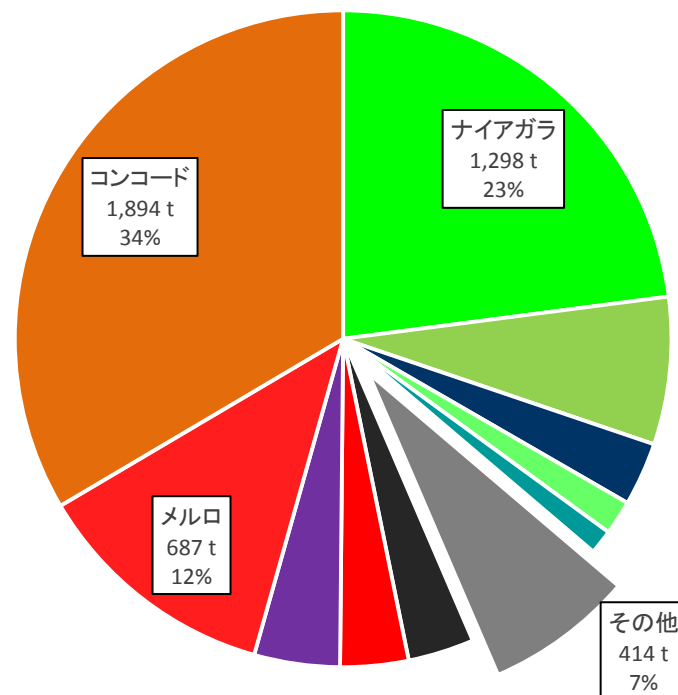
白ワイン用品種	数量(t)	割合
甲州	3,425.8	49.1%
デラウェア	463.7	6.6%
シャルドネ	90.0	1.3%
ナイアガラ	34.9	0.5%
リースリング・フォルテ	12.3	0.2%
合計	4,026.7	57.7%



長野県(合計 5,656t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
コンコード	1,894.3	33.5%
メルロ	686.6	12.1%
巨峰	238.6	4.2%
マスカット・ベリーA	189.8	3.4%
ブラック・クイーン	183.9	3.3%
合計	3,193.2	56.5%

白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	1,297.9	22.9%
シャルドネ	410.6	7.3%
竜眼(善光寺)	176.8	3.1%
ソーヴィニヨン・ブラン	95.6	1.7%
セイベル9110	67.7	1.2%
合計	2,048.6	36.2%



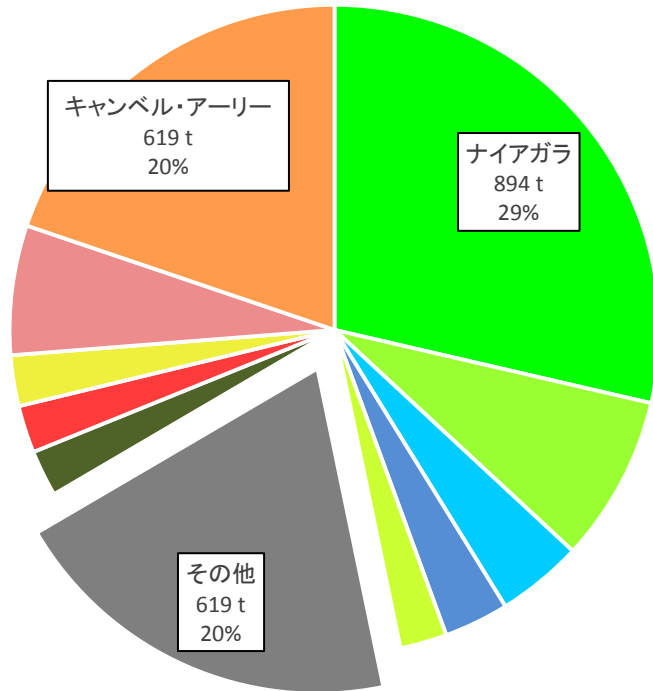
(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ②

北海道(合計 3,124t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	618.6	19.8%
ツヴァイゲルト	201.4	6.4%
セイベル13053	78.9	2.5%
ピノ・ノワール	73.6	2.4%
山幸	71.9	2.3%
<b>合計</b>	<b>1,044.4</b>	<b>33.4%</b>

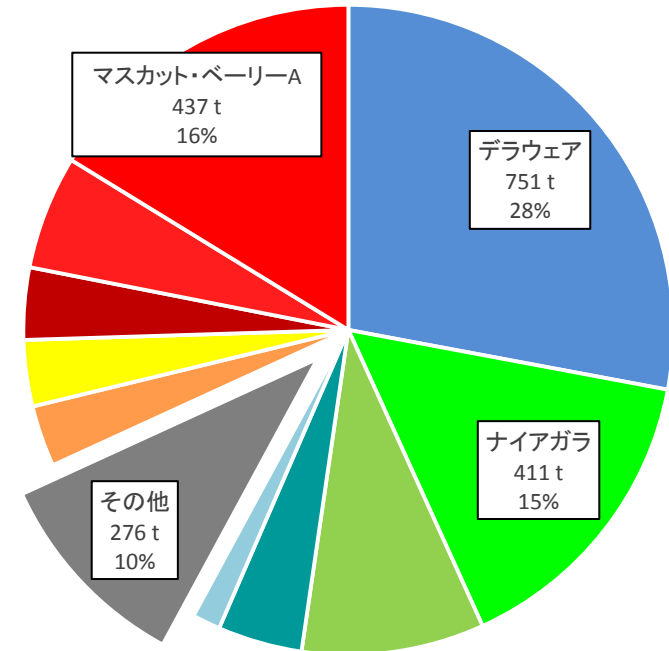
白ワイン用品種	数量(t)	割合
ナイアガラ	894.1	28.6%
ケルナー	258.8	8.3%
ポートランド	133.9	4.3%
デラウェア	100.7	3.2%
ミュラートルガウ	72.9	2.3%
<b>合計</b>	<b>1,460.4</b>	<b>46.7%</b>



山形(合計 2,688t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	436.7	16.2%
メルロ	152.1	5.7%
カベルネ・ソーヴィニオン	96.4	3.6%
ヤマソービニオン	88.5	3.3%
キャンベル・アーリー	81.9	3.0%
<b>合計</b>	<b>855.6</b>	<b>31.8%</b>

白ワイン用品種	数量(t)	割合
デラウェア	751.1	27.9%
ナイアガラ	410.6	15.3%
シャルドネ	244.2	9.1%
セイベル9110	113.0	4.2%
甲州	37.4	1.4%
<b>合計</b>	<b>1,556.3</b>	<b>57.9%</b>

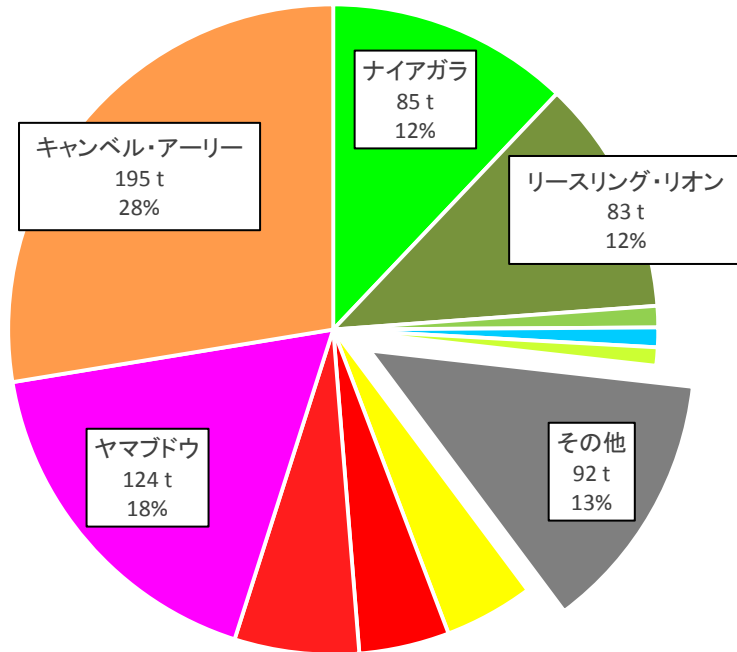


(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

○ 主要ぶどう産地(上位6道県)における品種別数量 ③

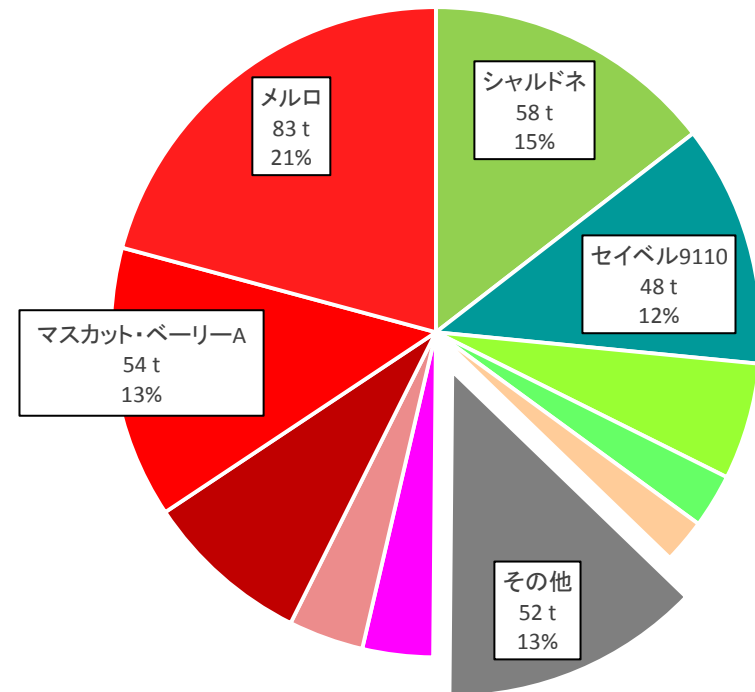
岩手(合計 706t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	194.8	27.6%	ナイアガラ	85.3	12.1%
ヤマブドウ	123.6	17.5%	リースリング・リオン	83.0	11.8%
メルロ	43.7	6.2%	シャルドネ	7.5	1.1%
マスカット・ベリーA	31.7	4.5%	ポルトランド	6.9	1.0%
ヤマソービニオン	31.3	4.4%	ミュラートウルガウ	6.4	0.9%
<b>合計</b>	<b>425.1</b>	<b>60.2%</b>	<b>合計</b>	<b>189.1</b>	<b>26.8%</b>



新潟(合計 399t)

赤ワイン用品種	数量(t)	割合	白ワイン用品種	数量(t)	割合
メルロ	83.1	20.8%	シャルドネ	58.0	14.5%
マスカット・ベリーA	54.0	13.5%	セイベル9110	48.0	12.0%
カベルネ・ソーヴィニヨン	33.1	8.3%	ケルナー	23.2	5.8%
ツヴァイゲルト	14.9	3.7%	ローズ・シオター	10.7	2.7%
ヤマブドウ	14.0	3.5%	レッド・ミルレンニューム	8.7	2.2%
<b>合計</b>	<b>199.1</b>	<b>49.9%</b>	<b>合計</b>	<b>148.6</b>	<b>37.2%</b>



(注) 全国のワイナリーで受け入れられたぶどうのうち、ぶどう生産量上位6県から入荷したぶどうの品種内訳である。

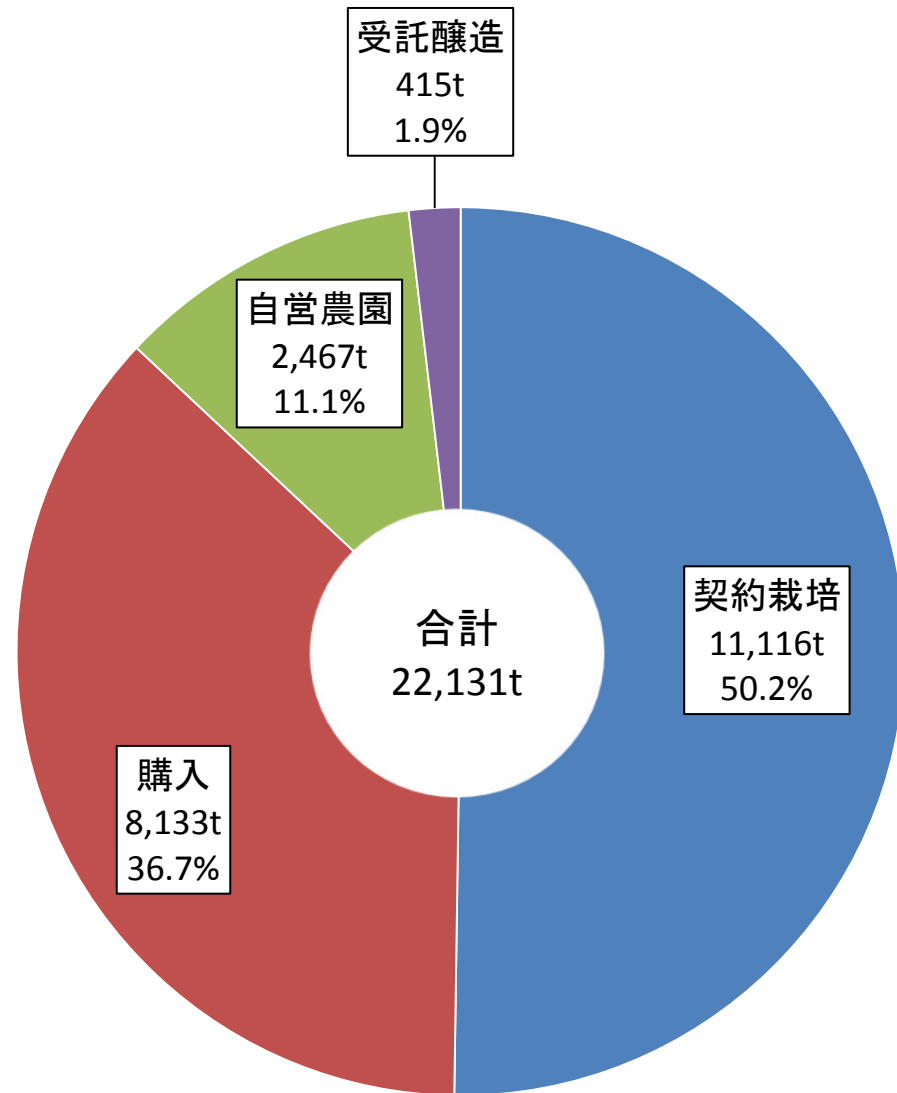
○ 都道府県別ワイン原料用国産生ぶどうの受入状況

(単位:t)

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (受入元の産地別)	自県ワイナリーの受入数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーの受入数量	受入先の都道府県									
				長野	岡山	新潟	京都	栃木	滋賀	石川	大阪		
山梨	(100%) 6,973	(85.9%) 5,988	(14.1%) 985	166	151	133	×	82					
長野	(100%) 5,656	(89.1%) 5,040	(10.9%) 616	497	35	×	21	×					
北海道	(100%) 3,124	(90.7%) 2,833	(9.3%) 292	140	68	38	27	×					
山形	(100%) 2,688	(56.8%) 1,526	(43.2%) 1,162	326	218	115	86						
岩手	(100%) 706	(86.2%) 608	(13.8%) 98	70	×	6	5						
新潟	(100%) 399	(99.2%) 396	(0.8%) 3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
全国計	(100%) 22,131	(83.2%) 18,421	(16.8%) 3,710										

(注) この表は、各ワイナリーから提出された「ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量」を産地別に集計したものである。

○ ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別受入数量構成比



○ 生産規模別ぶどう受入形態別製造場数

(単位:場)

受入形態	生産規模				計
	~100kl	~300kl	~1,000kl	1,000kl~	
自営農園	58				58
契約栽培	42	10	4	6	62
受託醸造	8				8
購入	69	11	8	1	89
<b>合計</b>	<b>177</b>	<b>21</b>	<b>12</b>	<b>7</b>	<b>217</b>

(注) 1 複数の形態で原料を受け入れている場合、各業者の受入数量が最も多い受入形態に1場として計上している。

2 国産生ぶどうの受入れがない製造場が27場ある。